

在セネガル日本国大使館月報

2021年10月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 11日、観光・航空運輸省は、全ての国・地域からのセネガルへの渡航者について、コロナワクチン接種証明書を取得している者は陰性証明書の事前取得が不要となる旨を発表した(12日 APS)

(外政)

- 3～5日、サル大統領はエチオピアを訪問し、アビィ首相の就任式に出席した。(5日 Le Soleil)
- 仏政府は、コロナ感染状況に基づく仏入国制限のカテゴリーにおいて、セネガルを「グリーン」に格上げした。(13日 Le Soleil)

ガーボベルデ

- 22日、カーボベルデ選挙管理委員会は大統領選挙の最終結果を発表し、ネーヴェス前首相が得票率51.75%で当選した旨を発表した。(22日 inforpress)

ガンビア

- 新井辰夫駐ガンビア日本大使は、21～23日にガンビアを訪問し、バロウ大統領を表敬訪問したほか、エドワード・フランシス小大学病院での草の根・人間の安全保障無償資金協力「癌検診・治療用機材整備計画」に係る引渡式や、日本の対ガンビア食糧援助に関する署名式に参加した。(25日 The Point)

ギニアビサウ

- ヴァジュ報道官は、14日に報道されたクーデター計画に関するギニアビサウ軍参謀長 Biague Na Ntan 将軍の発言を受け、クーデター計画の存在を否定し、報道を非難した。(15日 Odemocrata)

- ・文中の「コロナ」とは特別な記載がない限り、「新型コロナウイルス」のことを指すこととする。
- ・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:タル外務・在外自国民大臣→タル外務大臣など)

セネガル

(内政)

内政一般

- 5日、2022年財政法案が閣議にて承認された。総額は5兆1,560億FCFAに達し、2012年から2倍に増加した。(7日 L'Observateur)
- 8日、セネガル民主党(PDS)を含む5つの政党が結集し、2024年の大統領選挙を視野に入れた野党連合「Wallu Sénégal」を発足させた。(9・10日 L'Observateur)
- 11日、観光・航空運輸省は、全ての国・地域からのセネガルへの渡航者について、コロナワクチン接種証明書を取得している者は陰性証明書の事前取得が不要となる旨発表した(12日 APS)
- 11日、ジガンシオール市において、ウスマン・ソニコ PASTEF 党首の支持者と与党 APR に所属するドウドウ・カの支持者との間で衝突が起こり、複数の負傷者が発生。(12日 L'Observateur)
- 18日、セネガル海軍は、ギニアビサウ沖に向け航行中の船から約2トンのコカインを押収し、セネガル及び周辺国出身の船員5名を逮捕した。西アフリカで2019～2021年に押収されたコカインの量において、セネガルはカーボベルデに次いで2番目に多い。(20日 L'Observateur)
- 22日、ガンビア国境近くの村 Kandiadiou(ジガンシオール州)において地雷が爆発し、学生6名が死亡、7名が負傷した。(23日 RFI)
- 29日、ファデル・バロ(野党系市民社会組織「Y'en à marre」立上人の一人)等、複数の市民運動家が結集し、2022年1月の地方選挙を視野に入れた野党連合「Jàmmi gox yi」を発足させた。(31日 RFI)

(外政)

二国間関連

- 3～5日、サル大統領はエチオピアを訪問し、アビィ首相の就任式に出席した。(5日 Le Soleil)
- 仏政府は、コロナ感染状況に基づく仏入国制限のカテゴリーにおいて、セネガルを「グリーン」に格上げした。(13日 Le Soleil)
- 13日、サル大統領は、ドバイ国際博覧会における「セネガルデー」の記念式典に参加し、記者会見においてUAEとセネガルの良好な二国間関係や両国間の貿易促進に言及した。(14日 Le Soleil)
- 18日、サル保健大臣立ち合いの下、ポルトガルが COVAX 経由で供与したアストラゼネカ製ワクチン298,700回分が到着した。(20日 Le Soleil)
- 21日、米国が COVAX 経由でセネガルに供与したジョンソン・アンド・ジョンソン製ワクチン336,000回分が到着した。(22日 L'Observateur)
- 23・24日、サル大統領は、ガンビアで行われたガンビア川流域開発機構(OMVG)による電力網の落成式に参加した他、ブルキナファソを訪問しワガドゥグ全アフリカ映画祭(FESPACO)の閉会式に参加した。(25日 Le Soleil)
- 26日、ドイツのビオンテック社とダカール・パスツール研究所及びブルワンダとの間で、コロナの mRNA ワクチン及び、マラリア、結核のワクチンの現地製造に関する協定が結ばれた。(27日 RFI)

国際情勢・国連機関支援等

- 7日、タル外務大臣参加の下、12月6・7日に予定されている第7回アフリカの平和と安全に関するダカール国際フォーラムの立上式が行われた。(8日 Le Soleil)
- 採取産業透明性イニシアティブ(EITI)の2019年国際基準達成度においてセネガルが100点満点中93

点の高得点を得たことについて、サル大統領は、国の天然資源管理における透明性強化のための取り組みの結果であるとして祝意を表した。(21日 Le Quotidien)

- 21日、ホットウ経済大臣は、ダカール、ローマ、ブリュッセルにおいてハイブリッド形式で行われた第2回EUアフリカ中小企業サミットの開会式にオンライン形式で参加し、EUアフリカ間の関係強化のための民間セクターのパートナーシップ促進に言及した。(22日 Le Soleil)

日本関連

- 9月31日、新井駐セネガル日本大使とホットウ経済大臣との間で、日本の対セネガル食糧援助(2.5億円)に関する文書への署名が行われた。(1日 Le Soleil)
- 14日、新井大使とバルデ農業大臣参加の下、日本がJICAを通じてセネガルに供与した脱穀機(70台)及び糶摺り機(100台)の引渡式が行われた。(15日 Le Soleil)
- 22日、コロナによる経済活動への影響対策の一環でJICAが立ち上げたNext Innovation with Japan(NINJA)の授賞式が行われ、セネガルのスタートアップ3社が表彰された。(23・24日 Le Soleil)
- 在セネガル日本大使館は、第34回俳句コンクールの作品募集を開始した。(27日 Le Soleil)

(経済)

経済一般

- 財政省は、2022年のセネガルの予想経済成長率が5.5%となる旨発表した(サブサハラアフリカの地域全体は3.3%)。(7日 L'Observateur)
- 国際通貨基金(IMF)によるセネガルの2023年の予想経済成長率は10.8%で、アフリカで上位3位に入る。専門家は、この数字は天然資源開発により可能となるが確実ではないことや、高成長率は雇用創出等、国民生活の向上につながっておらず、サブサハラアフリカ諸国が負う多大な債務による国民への負担の実態を反映していないことを指摘している。(27日 L'Observateur)

(社会)

- ラック・ローズの面積は、湖岸への建設や周辺地域の都市化による水源の遮断等により、28km²(1970年)から4km²(2020年)まで減少しており、近い将来に消滅が懸念されている。(27日 Le Soleil)

カーボベルデ

- 4日、ソアレシュ外務大臣立ち会いの下、米国がCOVAX経由でカーボベルデに供与したモデルナ社製コロナワクチン10万回分が到着した。(4日 保健省 Facebook)
- 17日、大統領選挙第1回投票において、中道左派でカーボベルデ独立アフリカ党(PAICV)のジョセ・マリア・ネーヴェス前首相が当選した。(20日 Le Soleil)
- 22日、カーボベルデ選挙管理委員会は大統領選挙の最終結果を発表し、ネーヴェス前首相が得票率51.75%で当選した旨を発表した。(22日 inforpress)
- 25日、国民議会は、新大統領就任は11月9日に予定されている旨発表した。(25日 inforpress)
- 28日、シルヴァ首相は、国内のコロナ感染状況の改善やワクチン接種の進捗状況に鑑み、警戒レベルを引き下げ、感染拡大防止措置を緩和(文化行事等の人数制限の解除、パブやディスコの営業再開等)する旨発表した。公的機関におけるマスク着用義務は維持される。(28日 inforpress)

ガンビア

- バロウ大統領出席の下、ガンビア東部上流地域における中国政府支援による総額 8100 万ドルにおよぶ道路・橋梁建設工事の開通式が行われた。(11 日 The Point)
- 真実和解委員会 (TRRC) が最終報告書の提出期限(9 月 30 日)を再延長したことを受け、16 日、数百名の市民が、ジャメ前大統領任期中に行われた人権侵害の被害者に対する説明責任を果たすよう求めるデモを行った。(18 日 The Point)
- 新井辰夫駐ガンビア日本大使は、21～23 日にガンビアを訪問し、バロウ大統領を表敬訪問したほか、エドワード・フランシス小大学病院での草の根・人間の安全保障無償資金協力「癌検診・治療用機材整備計画」に係る引渡式や、日本の対ガンビア食糧援助に関する署名式に参加した。(25 日 The Point)
- 26 日、日本政府国費留学生として日本に渡航予定のガンビア人学生がセネガル日本大使館を訪問し、大使館員と懇談した。(26 日 The Point)
- 22 日、新井駐ガンビア日本大使出席の下、日本がガンビア移民局に供与した国境管理能力の強化に資する機材の引渡式が行われた。(27 日 The Point)

ギニアビサウ

- 9 月 27 日、ギニアビサウ・コロナ対策委員会のシルヴァ高等弁務官は、国民の 13%が少なくとも 1 回ワクチン接種を受けた旨や、中国が供与した 20 万回分のシノファーム製ワクチンが到着した旨を発表した。駐ギニアビサウ中国大使は、中国がギニアビサウに対して 30 万回分のワクチンを供与する用意がある旨述べた。(4 日 Odemocrata)
- 8 日、マンジャ WFP ギニアビサウ事務所長と新井駐ギニアビサウ日本大使との間で、日本の対ギニアビサウ食糧援助に関する文書への署名が行われた。(8 日 Odemocrata)
- 15 日、訪仏中のエンバロ大統領は、マクロン仏大統領と会談を行った。両大統領は、ギニアビサウが安定を取り戻したことや両国関係が新たな局面を迎えたことに祝意を表した。(15 日 africanews)
- ヴァジュ報道官は、14 日に報道されたクーデター計画に関するギニアビサウ軍参謀長 Biague Na Ntan 將軍の発言を受け、クーデター計画の存在を否定し、報道を非難した。(15 日 Odemocrata)
- ロシアを訪問したバルボザ外務大臣とラヴロフ・ロシア外務大臣との間で、外交パスポートのビザ免除及び技術・軍事協力に関する協定が結ばれた。ラヴロフ大臣は、両国間の経済・商業協力の強化を望む旨述べた。(18 日 Odemocrata)
- 20 日、ギニアを訪問したエンバロ大統領は、ドゥンブヤ・ギニア大佐と面談し、訪問について満足の意を表し、ギニアビサウの独立におけるギニアの支援を忘れてはならないと述べた。ドゥンブヤ・ギニア大佐は、両国間の協力強化を望む旨述べた。(20 日 Odemocrata)
- 全国労働者連合中央連盟(UNTG-CS)は、医療従事者のストライキに関する内務大臣との交渉後、公立病院においては医療従事者による最低限のサービス提供が再開される旨発表した。(27 日 Odemocrata)
- 29 日、ギニアビサウにて「災害宣言」が「警戒宣言」に引き下げられた(期限は来年 1 月 29 日)。

(注) 本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。 (了)